

PHOTO

KOKUYO / PHOTO ALBUM

白石城址写真帖

白石市文化財保護委員會 調査報告

昭和四十年

調査・撮影・構成 片倉信光
現象・焼付 光影堂



益岡
茶臼



(車)

川田氏・白石氏時代 旧白石城址 (白石市元山園)

(寛治年間一文治五年迄 川田氏城主
 文治年間一天正十四年迄 白石氏城主
 天正十四年一天正十九年迄 屋代氏城主)



益園城 (川田・白石氏時代旧白石城)

↑ 伊山亭山 (西方列)



森合道 →
 茨城旧街道

(南西方列) 森林益園城

(↑ 森合道科名)



(東方白石中学校の)
 大層森合道

森合竹籠城址(元時城址)
 道中旧井頭行旅(森合城上並行)

吉見学園

丘頂部分
馬場とハルマシ場所
右手に最高所あり



丘の西側
麓の部分



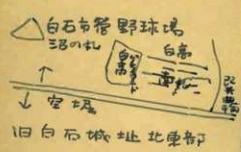
丘の二級目
西北方から
発見された
布目瓦





丘の東方 古見学園、下3所 学園は「殿」とい
と行これ井戸あり 城主居館 があるとい
伝えられている。古の飲料水は伊勢水といふ

公園の西曲輪
木にかけられた石の平丸



新白石城址 航空写真 (1977年撮影、白石高校蔵)

益岡城址 利四方を望む

慶長五年閏4原合戦
の前哨戦に徳川家
康軍配に5つ行われ
伊達政宗が白石城
に攻落しむ。

伊達勢の陣地が、
こちらの丘に構築さ
れた。

巨高口
"城廻り山の遺迹"
に53。



菅生田 (伊達上野陣地) 河原新町夏 (取巻本陣地)



中越 陣地山 文橋場
【伊達政宗御陣地】
本札に3町35向
本札地形に4間狭し
本札に7町10向

益岡白石城址

天正十九年 藤生氏御
築城、同水源及2内
御城(四方石)と対し。

慶長三年 上杉景勝
領と利根橋備後在
城、全3年築城。

慶長五年七月=2020
伊達政宗領。
石川玄知守死城。

慶長七年十二月晦日
片倉十郎将頼
(初一百三石
後一石八石)

明治元年 奥州に被
藩白石に会し白石
同盟結ぶ。

明治三年 南柳伊達守
(丁四方石)領と利
入城。

明治二年 按察府
白石縣 向田勝造。

明治四年 東北縣在在屯。
明治七年 民間に私下
解任

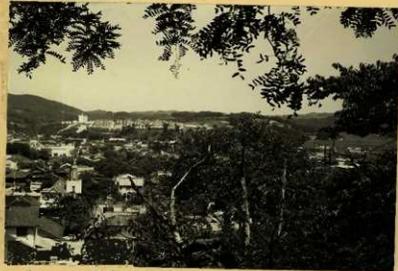
明治二十年 益岡公園



1階坂面に2面窟
【高野取巻陣地】



4 峠 益盛山
山本本札に
26町半
本札地形に
3町高し
(米沢旧街道)
本札に27町半
本札地形に4町高し
【伊達政宗御陣地】
【白石岩御陣地】



手代山 (奥山)
1. 本札に 9町46向
本札に 4町半狭し
【伊達守房陣地】



銃子盛
【石川富江陣地】
後大畑山に移す

1 雷川橋
本札に 11町40向



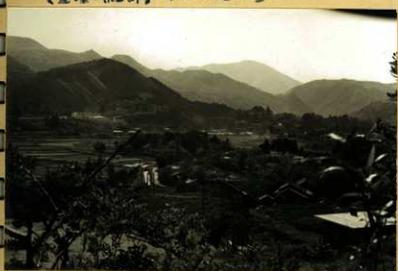
住吉4号(岩崎山)

1 本札地形に 2.4町3.0南
河原地形に 2.7町半高し

延命寺前
【熊ヶ原】 大畑前 【伊達安藤陣地】
【百瀬源五郎】 (石川虎江)



岩崎山 大畑山



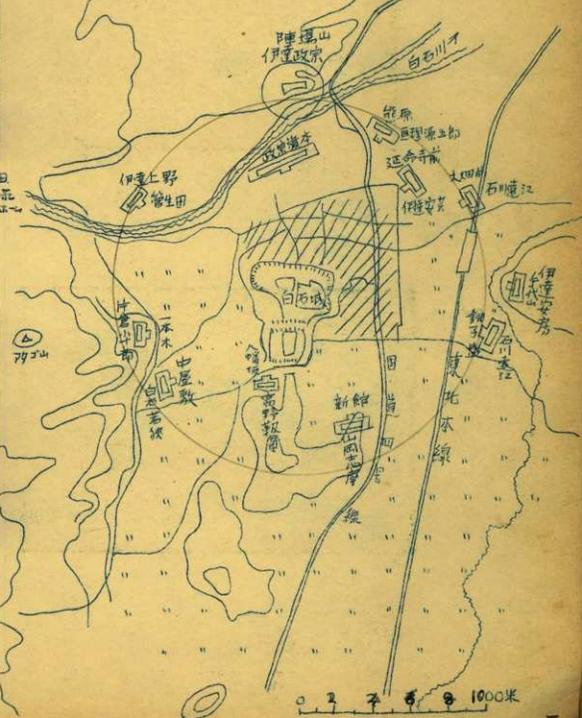
愛宕山 湖観音
本札到 1.3町 2.0町
本札地形に 6.4町半高し

一本不
本札到 9町
本札地形に 1.0町高し
【竹籠山十郎陣地】



新館(母子寮)
1 本札到 6町 4町
本札地形に 3町半高し
【山岡志摩陣地】

慶長5年7月24 25日
伊達政宗白石城 改築織布陣園



0 2 7 1000米
1/2万

四方列 白石益岡城
五望云



北方(障場山 伊達政宗本陣跡)



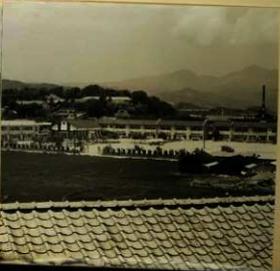
東方(宇佐山-寿山-伊達安房陣場跡)

白石城 益岡城



西方(一本不片倉小十郎陣所跡跡跡)
南方(新館-母山 山田忠廣陣場跡)

西面障 中十郎 三石ノ北 山田





本丸 二ノ丸 西曲平馬



一本木
(片倉小十郎陣場)

○慶長5年7月24・25日白石城攻落戦 両軍布陣氏名

籍城軍

上杉景勝
白石城主
留主將
甘糟備後
登坂式部少輔
登坂謙次
登坂新左門
大崎三次
菅尾三郎左衛門
石川城前
鹿田工門
南右右丸
白井左衛門
葛西家臣
畠山豊治
高野

←陣場山

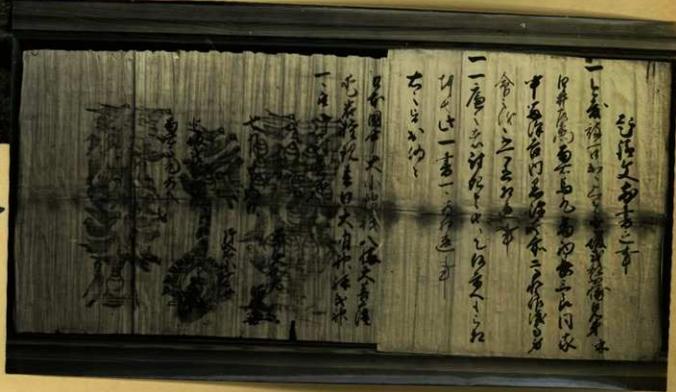
攻城軍

伊達政宗
旗本馬廻り
先鋒
尾竹勘解由
巨野右近
伊達上野
片倉小十郎
白岩若飯
高山野間安芸
伊達安芸
王理源立江
石川遠江
陣場山
蝦原新四郎
菅生田
一本不
中屋敷
八幡町西、南
新路
年代山(壽山)
進命手前
熊手屋
後一大畑前

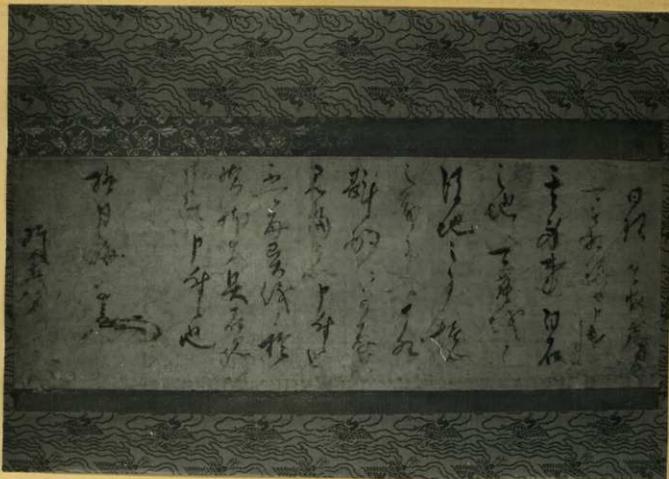


旧白石城跡 運物の前一本木

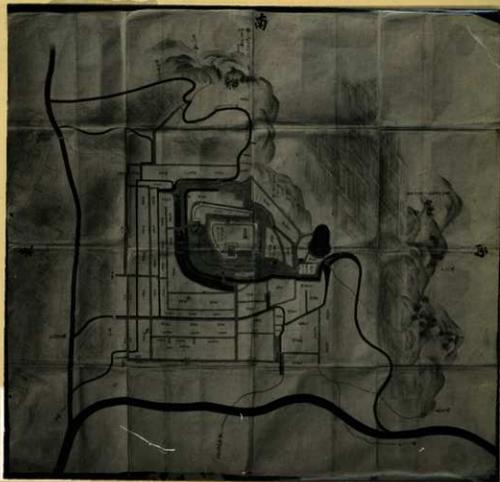
起請文
諸城の邊 籍城兵の生命を
保護すに交換文書
伊達軍 石川大和・片倉小十郎
の血物三返り
籍城軍 上杉家臣 登坂式部
南右馬丸 両名宛
慶長5年7月25日



慶長7年12月晦日付
 伊達政宗 到片倉小助
 宛書状
 白石城の山七郎と白石
 城へ移封の文章



推定正保年間作製
 白石城並城下絵図

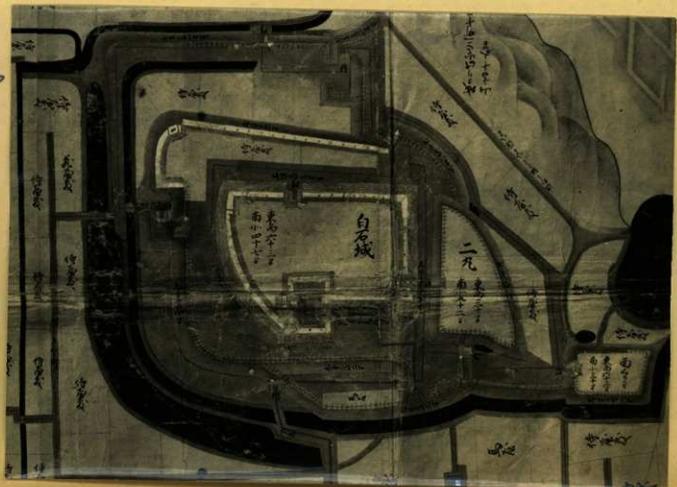




白石城屏風

城の東方 巽櫓
二丸 大手門
城の北方 本丸大御所
三階櫓
砲門
城の西曲輪 二丸
五層屋敷
本丸堂

左右
城郭
部分
→



天和三年実測

白石城并城下絵図



今上城郭部分

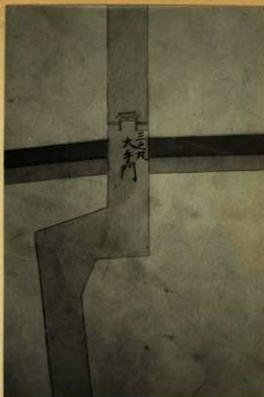


以下使用の城郭部分図は
今上実測による普請観図
の部分図である。

現在(昭和38~40年)の
状況写真と対比して示し
て示した。

白石城遺構

外曲輪
まがらわ



外曲輪 大手先 上病院前の道
大手口 町屋と信小路の境



台原横丁に在る境

国道四号線

現在

才川口

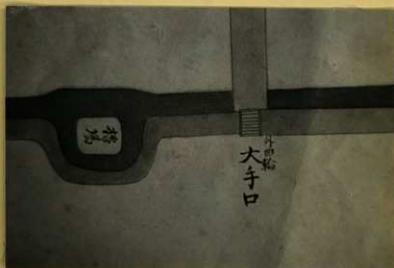


病院前左に石垣不即此之東側にも石垣及び礎石址

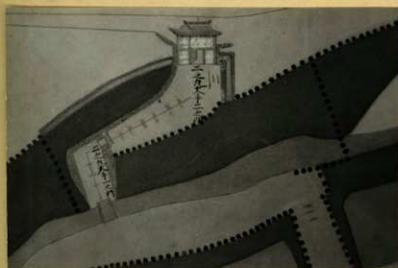
中西角戸餘不築城の跡中央に跡の土手と礎



東
路
信
土
堀
町
町
屋



本丸
三ノ丸
二ノ丸
三ノ丸
三ノ丸



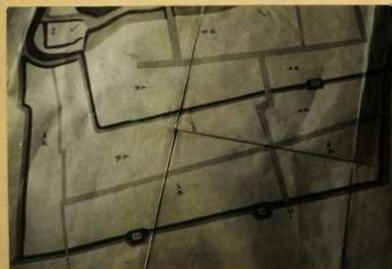
本丸より三ノ丸大手三ノ丸門址
三ノ丸方面と望む
白石市役所(片倉製糖)
社宅
→ 並道の所三ノ丸門址



石匠の
門の
白土路
坂本入口
甘日
丸の
口
入
ラ
カ



城山下を巡る流し堀(館野川)
石匠の石出部又平口板橋の橋脚



外曲輪

外曲輪北即山口
電々台社の
沢端川



本丸石垣、現在一部
一部残存している



残存する石垣



石垣下部部を掘り出す
は、掘り出すと、石垣の
古く、野うら積み



東北隅、今人遊、在徳田



多摩川の砂礫層と河川工事の跡



明神の御堂と五重塔
多摩川に架かる明神の御堂と五重塔

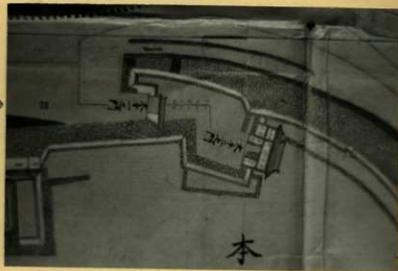


明神の御堂



明神の御堂

明神の御堂の
内部の構造



明神の御堂の
内部の構造



明神の御堂の
内部の構造



明神の御堂の
内部の構造



本丸大手門其他礎石七個残存



二ノ丸より本丸大手門へ入る



本丸大手門より
二ノ丸大手門まで



遊辺石礎の土台に使用された礎石

本丸内

南側石垣上の部分
昔は白濁土塙がある。



南側 本丸裏門(三階門)
の西(北側)



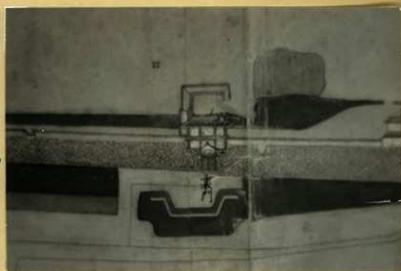
三階門

三階下段白石高視の倉の跡名は
二五の墓定所址

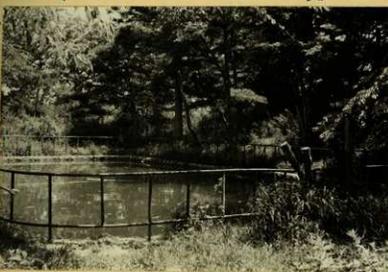


三丸 ← → 本丸 ↑ 池

三階門 止射口は馬出しとて去



池口本丸内の貯水池は、大徳園池
とあるが昭和廿三年改修時に改め
て丸田貯水池と改称したと云ふ



三階門跡地にある御道三の南端
標高七十六・五米

北緯三十三度五十分
東経一四〇度五十分
三階門跡地
三階門跡地
三階門跡地



本丸南一西方向

三階門 池

三階門

三階門



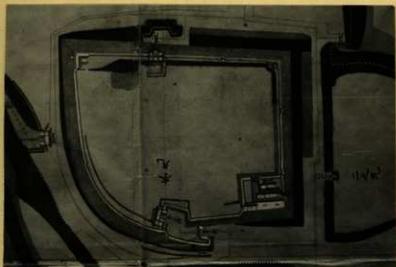
南側西方石垣上部
石垣下の泥の跡



南側西南 坤櫓 礎石の部



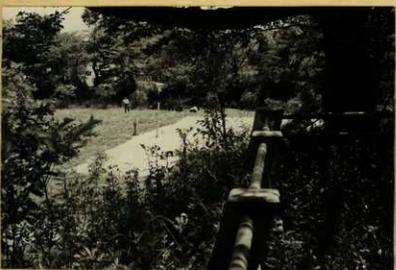
李丸全形



坤櫓
三石垣
口部



三階櫓 李丸印成御殿址



坤櫓の址



三階櫓



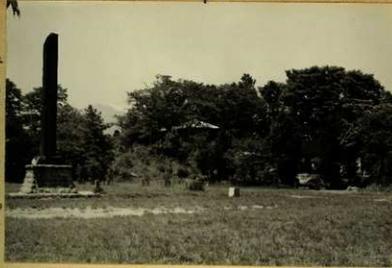
大平の門址

南側石垣
17

李凡 往田の間掘

三階櫓 及 中央部合

二の所 三ノ九ノ通リノ北

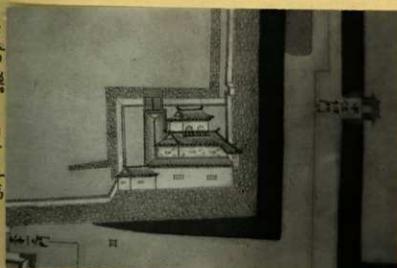


↑

三階櫓 石垣土台上高

石垣四尺八寸

下堂東西九間南北十間中ノ堂七間ノ間上ノ堂五間ノ三間



井筒室(三階) 元日池の南にあり
李凡 三階櫓 下ノ現存あり



三階櫓 工石 石垣高五間三寸

李凡 西地帯



白石城使用瓦



伊達家時代 三引兩

孔曜瓦



唐瓦

天正瓦

李凡内ニ便所ノ二ノ也ナリ

二ノ丸



二ノ丸中仕切門址



本丸西側右砲上より 口地をみる

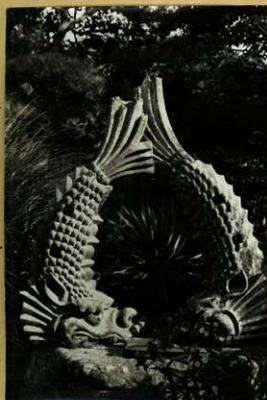
↑
道は本丸と二ノ丸中間の凹地
區場のみつた



白高からララシ入口門



本丸内に使用したしやち瓦



(藤字茶池長徳寺の瓦)

本丸土蔵門のしやち瓦



(小原温泉のしやち瓦)
かつりやには 大寺町のつらつら
火災で壊れた

屋留瓦の鉄釘の留釘





二ノ丸 石塔屋 址 西がけ

現 兎 籠 園 地

二ノ丸



本丸 三階櫓 二ノ丸とみ



中ノ丸

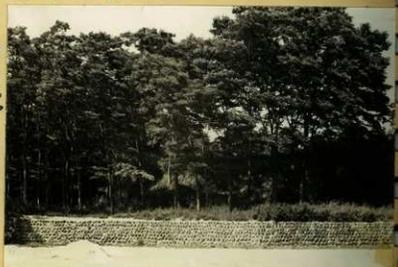


中ノ丸

土手は 二ノ丸土手と 上の二ノ丸
土手下は 礫の敷



中ノ丸
← →





横綱碑夏



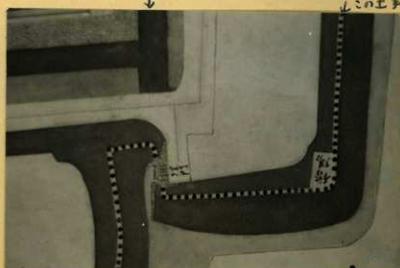
この南下に埋門の
跡



↑
埋門址 ↓
中ノ丸南西部



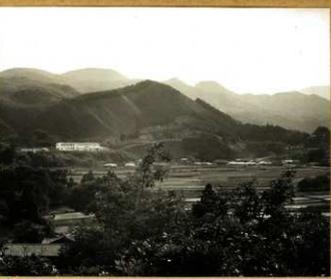
↑
埋内址



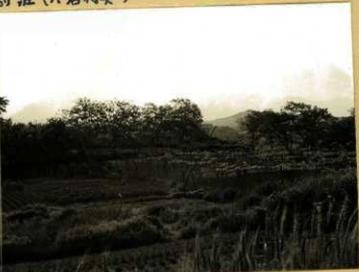
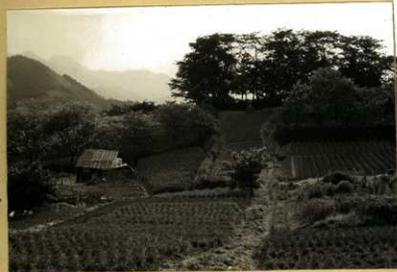
↑この土手は
カラダ下
壁の障消滅し

(↑上面写真に印の方向に撮り)

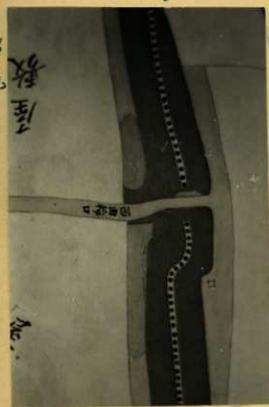
西曲輪



手前の一部
常盤山 別荘 (片名村史)



→ 依_レ場所 西曲輪口



西曲輪

沼ノ丸



西曲輪八幡江
上原_子三平 京都石清水八幡江
上_原子_三平 京_都石_水八_幡江
上_原子_三平 京_都石_水八_幡江



上_原子_三平
古_く口 石_水八_幡江
沼ノ丸

沼ノ丸 →



西曲論 林中
八甲舊社



老人示之 土平下流比屋 後小呂



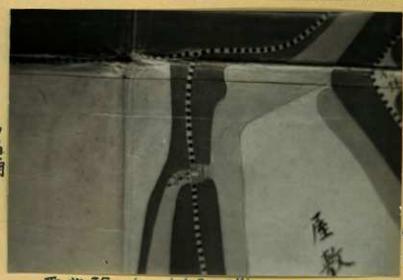
土平至側口
右側口
中ノ丸
切通門址



東へ回ると
切通門址



西曲論中丸境、土平、安野町の切通門



切通門

西曲論 / 土平 / 中ノ丸

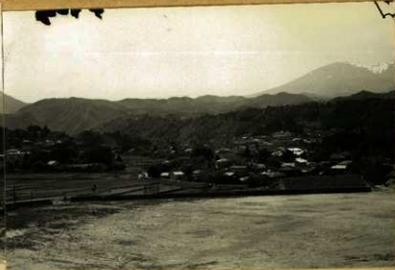
中丸



西曲論西側崖下流比屋
双輪川合岐



沼ノ丸・沼



沼ノ丸 市野野球場

土手の上
中ノ丸
土手の下
空堀り
野球場
沼ノ丸



山八幡社 西曲町

沼ノ丸
沼ノ丸



沼

空堀(埋)



上の土手は埋ノ丸の土手



白石城を丘陵から眺むと
 3ヶ所あり印ノ丸空堀址
 現存開き之處が道路に
 して
 右側が旧白石城の跡
 左側が益田城中ノ丸土手



古見野園地側空堀址



空堀
 埋ノ丸

沼 ↑ 八幡山
 旧白石城址



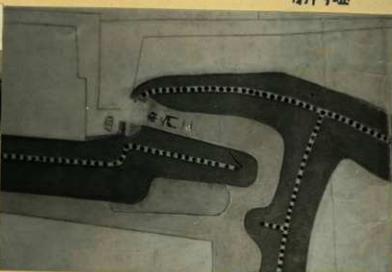
沼の南側

← 土手ににみたる部分が旧白石城

大まかに西村様亭を
 後、左の黒田三丸
 中ノ丸 南方の土塙、及南門址
 から、この北に西へ消滅した



↑南門址



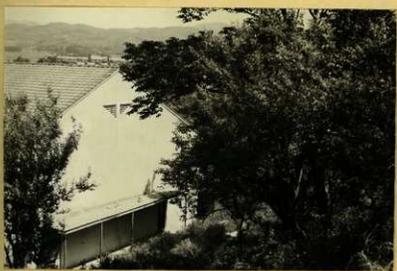
三ノ丸南の方

中ノ丸

南丸 // → 中ノ丸南の方

中ノ丸

南丸 土塙の南東南の小坂口門址



白鳥伝書館 南丸西方

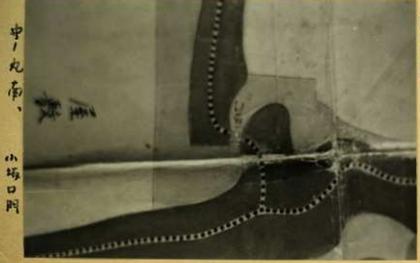
土塙中ノ丸



白鳥正門の田町口門

南ノ丸

田町口門



南ノ丸西

中ノ丸南、小坂口門



二丸東南角 塙場
 勘定所 現白高検査東方



英曲輪

作事所 (鏡片倉製在木工場貯水池)



南丸 塙屋 (米ミ水車)
 南丸水車屋の建物



南ノ丸



水車屋は昔の建物



排水口



と依り所を以て通して米沢街道に
 北口凹地にまつてこの門を
 田町口門並は今の南丸の宅



三ノ丸

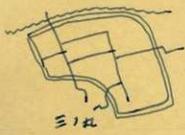
三ノ丸は白石女子高校 白石市長
体育館 公立川田病院 白石
市役所 片倉製糸工場の跡等
が中心である。

入口は北の宮口門、東の
大手先口二ヶ所。外に西に
馬場へ通る口がある。

空中橋の大手の待屋敷がある。
北寄は明治四年屋敷と取下的
鍛冶場と此の町地である。



三ノ丸 大手先口道 白石市役所
(本丸の北)



→ 女子高校

左側 ④ 会社 泉老本波家
⑤ 女子高 佐藤家
通り 宮口門の蔵口門の道

宮口門



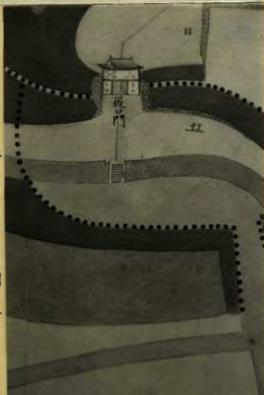
三ノ丸川(外堀)の石流し(吸)橋を流す宮口門



厩口門
ウラハクシ



← →
魚尾の所 厩口門址



厩口門 現在 延命寺の門

厩口門並前土塔



帶曲輪 銀治屋 土庫(20:00) 甚層 方門

帶曲輪



坂口門

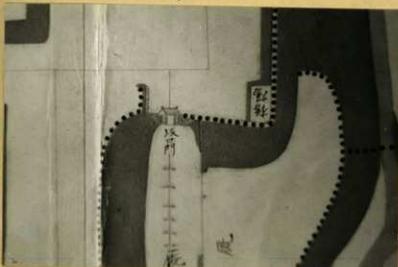
坂口門址 →



坂口門北側に櫓場あり
木藏堂(報時)あり
本該日常研寺に現存



坂口門



北 厩曲輪



↓ 北

厩曲輪

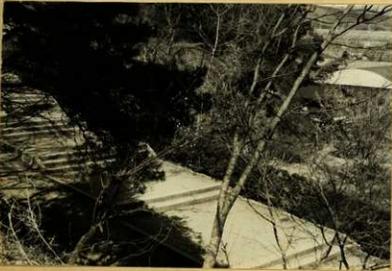
東北角徳徳から厩曲輪
坂口門をへる



厩の址 →



石段上に坂口門



厩の址 →



山手町の所 東北角 櫓場



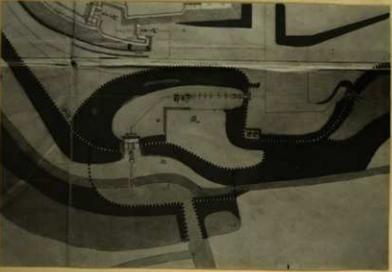
↑ 北



山手町の 東北角櫓場



神明社口橋所 附近



杉林の甲に櫓場 乾門の下へ入道



二ノ丸 西北南櫓場へ運物後の土鼓

乾門

櫓場と乾門外から見た



北へ下り流口古川今口で右へ左へ

坂口門西口丸場 丘屋倉 二棟あり



神明社口跡所 附近



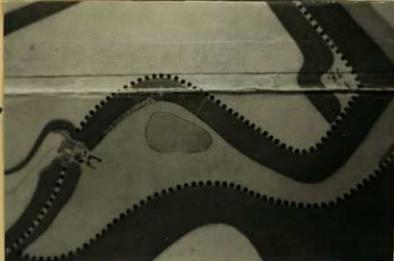
杉森の中に徳塔 新門の下へ道



二丸西北南魯場遺跡後の土鼓



乾門



魯場と乾門外から見た



七徳塔

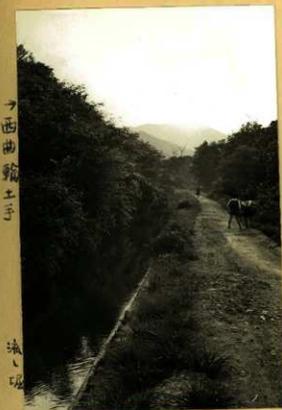


↑
乾門址
450m
西子山に徳塔下を通り
中丸、新通門より
西北福川をさる

北へ下る道は古川大寺口で有つた

流之堀 (館堀川)

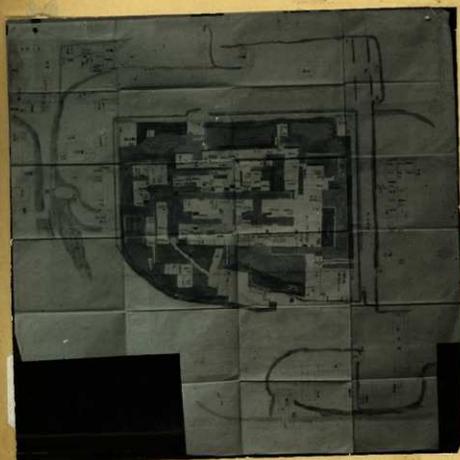
西曲輪土手



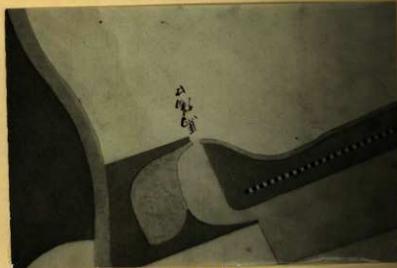
流之堀



女子高校在苑
と馬場 今馬場



城内建造物配置図



白石女子高校庭

三九

本誌以外
の
十
一

1965. 10. 5. 第2号

